

ホクコーラブサイド®フロアブル

■種類名：フサライド水和剤
■有効成分：フサライド----- 20.0%
■化管法指定物質：フサライド〔第1種〕----- 20.0%

■登録番号：第18632号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1994.02.07
■性状：白色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：4年
■包装：500ml×20本
5ℓ×4缶(3年)、20ℓ×1缶(3年)

【特長】

- 菌の侵入を強力に阻止する予防効果が特に優れるいもち病防除剤。
- 孢子飛散阻止効果があり、散布後に抽出した葉への感染も阻止する。
- 固着性にすぐれ、降雨による効果の低下が少なく、残効性もある。
- 取り扱いやすいフロアブルタイプで、ブームスプレーや散布などの地上散布をはじめ、無人ヘリコプター散布、空中散布など幅広い散布方法が可能。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	1000~1500倍	60~150 ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
		300倍	25 ℓ/10a				
		原液	120~150 ml/10a			空中散布	
		30倍	3~4 ℓ/10a			無人ヘリコプターによる散布	
		5~8倍	800 ml/10a				

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- 本剤はいもち病発生に際して予防的に散布した方がより効果的である。葉いもちに対しては発生が予想される場合又は初発生をみたら直ちに散布すること。
- 本剤は貯蔵中に沈殿を生じることがあるが、振れば容易に元の状態に戻るため、使用に際しては容器をよく振って均一な状態としてから所定量をとり出し、水に入れてよく攪拌して、所定濃度の散布液を調製する。
- 本剤を空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の事項を守ること。
 - ◆ 散布は各散布機種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 微量及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - ◆ 無人ヘリコプターによる散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆ 特定の農薬(混用が確認されているもの)を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
 - ◆ 散布薬液の飛散により他作物の薬害を生じるおそれは少ないが、なお散布区域内に栽培されている作物等に留意すること。
 - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生じるおそれがあるので散布区域内の諸物件に十分注意すること。
 - ◆ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - ① 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に適切に処理すること。
 - ② 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
 - ③ 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。